

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

重要文化財（建造物）「大宜味村役場旧庁舎」

指定記念式典・記念祝賀会



清村正弥さん



金城義之さん



去った8月24日（木）、大宜味村農村環境改善センターにおいて今年2月23日に「大宜味村役場旧庁舎」が重要文化財（建造物）に指定されたことを祝して指定記念式典及び記念祝賀会が開催されました。

式典・祝賀会には沖縄県教育長をはじめ国頭村、東村、名護市など村外の関係者や村内関係者が集まりました。旧庁舎の設計者である清村勉氏の親族を代表して清村正弥氏、施工請負の金城組代表であった金城平三氏の親族を代表して金城義之氏が県外から駆けつけて下さいました。

式典の中で宮城功光村長は「今後も村民みんなで大宜味村の宝を誇りとして、国の重要文化財の保存・継承に努めてまいります」と語りました。

清村勉氏や金城平三氏をはじめ、関係者や村民の愛情があったからこそ、現在も現役で残っているということを再確認できました。旧庁舎を末永く残していけるよう、村民みんなで大切にしていきましょう。

不便なんて工夫で乗り切ればいい！ 災害時にも役立つ!? ちょいエコキャンプ

平成29年度わんぱく体験団 第3弾「わんぱくキャンプ」

8月16日（水）～17日（木）の1泊2日、わんぱく体験団第3弾「わんぱくキャンプ」が行われました。高学年の団員だけが参加できるこの活動。今年のテーマは自然に優しいキャンプ。昨年の9月やんばるが国立公園に指定され、いつも使っているキャンプ地も第1種特別地域となっており、いつも以上に自然に配慮したキャンプにすることが望まれます（※第1種特別地域は通常、キャンプはできません。今年度より教育委員会では環境省に届け出を提出し、受理されたのでキャンプ地を使用することができました。）

水道も電気もガスもない場所で、自分自身の力を試すわんぱくキャンプ。最後まで楽しめる団員は現れるのか…



考えながら積み込みます



大量の食器や調理器具を洗浄



沢の水を溜めます。



息を合わせて一気に建てます。



大事な大事なトイレ作り



炊飯のカギ♪マキ集め。



男子も女子も関係なくすべての作業に挑戦します



オレたちのカレーが1番！



優雅なひと時♪



これぞわんぱく！

今回のキャンプは準備から片づけまで全ての作業を自分たちの力で乗り切ります。さぼったり、手を抜いたりすればご飯の時間も遅くなったり、川で泳ぐ時間も減ったり、良くも悪くも結果はすべて自分たちの責任。

文句を言いつつも作業を進め、暗くなったと同時に夕食（間に合ってよかった…）。

星空観察や肝だめしで楽しみ、就寝。と、思いきや、夜の森に響く歌声…。夜遅くまで盛り上がり、最後は先生に叱られる始末となりました（これも自分たちの責任）。

体験の翼西会津交流団、大宜味村来訪



7月29日（土）～31日（月）、福島県西会津町から体験の翼交流団20名（男子7名、女子8名、引率5名）が大宜味村にやってきました。

西会津の友達との交流を通して、それぞれの地域の自然や気候、文化の違いを肌で感じながらお互いを理解する体験の翼。夏の交流は今年で24回目となります。

29日に行われた歓迎会の対面ではお互い緊張していた団員たち。2泊3日の短い日程ですが、沖縄ならではのさまざまな体験を通して一緒に過ごす時間が増えることであっという間に仲良くなりました。

お別れ式の時に家族の一員のようにやって来た西会津の団員たちを見て、とてもいい時間を過ごすことができたのだと感じました。

来年の2月には西会津におじゃまします。西会津の魅力をたくさん勉強し楽しく過ごせるように大宜味村の児童・生徒を代表して頑張ってください。

授業の現場を見に行こう！ 大宜味村学力向上推進委員会キャリア教育視察研修



8月22日（火）に大宜味中学校1年生の総合の授業で行われている商品開発の現場を見学に行きました。現在総合の授業では大宜味村の特産品であるシークワサーを使った商品開発を行っており、飲むお酢の商品開発をしています。

今回は実際にシークワサーをお酢にしている株式会社たまぐすくさんと、作成したお酢を飲めるように調整している有限会社北琉興産さんの工場を見学しました。

午前中に見学したたまぐすくさんでは酢をつくるために発酵させる容器や、酢にするための酢酸菌など、普段見せていただけない部分まで見学させていただきました。

北琉興産さんでは、飲める酢にするための調整の仕方やペットボトルに商品を詰める作業を体験、見学させていただきました。

見学した子どもたちからは「普段は見れない所やいろいろな話

が聞けたのでよかった。」「自分でペットボトルにジュースを入れる体験ができて良かった」といった声がありました。

現場を知ったことでこれからの総合の授業に活かせる工場見学となりました。



この夏、君は変わる… 本気で学ぶかけっこ教室 ぶながやの里生涯学習講座

8月21日（月）、かいぎんフィールド国頭においてかけっこ教室が開催されました。

9月に開催される運動会や10月に行われる国頭地区中学校陸上大会に向け、小学生は走る楽しさを知るため、中学生は正しい走り方を身に付け、より速く走る方法を知るため小学生を対象に午前、中学生を対象に午後に分け、知念玲亜さん、小森翔さん指導の下、活動を行いました。



am. 小学生 参加者 16名

背中タッチゲームやケンケン相撲、ストレッチで体と心をほぐしたら、動きづくり。股関節を大きく動かすこと、腕を大きく振ること、足を前にではなく上に上げることを意識するなど、走るための基本的な体の動かし方を確認しました。



最初は倒したり、蹴飛ばしたり、なかなかうまくできなかったミニハードル走でしたが、回数を重ねていくと動きもよくなり、動きがよくなるとハードルも倒さずに走れるようになりました。

最後は踏切位置を決めたミニハードル走。雨降る中でしたが、どの子も思い切り走って笑顔いっぱいの教室となりました。



地区陸上に出場する短距離メンバーを中心に集まった中学生。速く走ることは陸上だけでなく、バスケットや野球などの部活動にも活かせることや、走るだけでなくジャンプの時も腕を大きく振ることが大事なことを教えてもらい、腕の振りや足の上げ方をより意識した練習をすることができました。

ミニハードルの幅を徐々に広げていき、反復練習を繰り返すことで、徐々に正しいフォームを身に付けることができ、10月に控えた陸上大会前により経験をすることができました。

深読み大宜味村史 7 根路銘 1967年8月16日 8時20分

通史・資料編を合わせて1,100余ページにも上る村史編さんの基になった資料から順次紹介している。今回は根路銘での聞き取り調査のメモである。読み取り不能の文字は□で表し分かりづらい表現は（※…）と補足を入れた。

出席者 宮城親喜氏（東リ）84才、浜元栄次郎（ウント）、区長、宮里徳二、高江洲重栄、平良作幸84才、大城栄進、栄福、実、栄子、大城栄三

村学校 屋嘉比学校

土地整理 ミミン主（※根路銘主）、田港主の話 見えない部分はミミン主の分

宮城の平地、念ガマ等にあった

仕明地 トー、ウントー、東リ門の3家 平南田 一人の割り当て面積5.4坪

共同店 山城親保、門のオヂーさん主任から始まる58年前 明43年頃

昭11年産業組合に組織替 昭16年全体組合に統合される 田、謝、喜、兼、根、塩、津7組合が1組合になる 村農業会に組織替一村の経済課と一緒にになった

3月事件 明治43年、新暦に行事改善を命ぜられ3月間（※サンガチマー）に区民集まりで酒1斗樽を前にしてやって居った。村役場より手入れを行はれる 平良眞順議長、山川文光村長、親泊校長他吏員教員皆さんで区事務所へ押かけて来たのでこれを釘止め雨戸を為す 若い者は逃げ老人3人丈けが残された区民のけふ迫（※脅迫）を受ける 区民は田植の腰休みと云ふてやったと云う 各部落違反した処は30円の罰金が科せられたが根ロメの事件でオジャンになった その責任を取って親泊校長は辞職願いが出された（当時村議山城親保、宮城助市□7人には免れる）

学校移転問題

宮城正喜（区長）、大城栄幸、宮城仁太郎、宮城静保（ウ□□）、宮城金保（アタヤ）、平良盛吉（最近死亡）、高江洲重光、平良源喜、浜元栄光、平良源保、宮里安喜、新里清助、金城健助

那覇の宿屋から差入れた。その経費負担で仲山の区有林の松木を処分して支払した 家族の仕事の分担は村賦を出て奉仕した

村内法 札の課金 日に2銭 間切札5銭 島札は戦後53年（※昭和）頃まで続いていた

水道 昭和7年頃 区長大城栄吉氏

砂糖製造 明24年頃から上原マスカジで始まる 牛車（木車）3、4年頃続く サッパンナ水車

3月間（※サンガチマー）で甘蔗酒をしぼって居った 名護の名産会の所有で鍋洗汁（砂糖湯）をよく飲んだ 歌「名産会の水車立てて 塩屋の美童び 油断しみて」

親川…バヂギン下…に株口議でやった 塩屋のナンカンシークープスメーから砂糖のぢー取を習う

読谷山口 入りプスメー、ウントプスメー 大正8年頃 600丁位製造やる 当時40円1丁当り

佐々木山（□門）に土地測量技術者いて滞留して居った 俗稱（※俗称）御嶽の後（上）

共有地 仲山 正喜氏の時10ヶ年産業振興計画で大味久五□ 大正6年頃 昭和7年頃栄吉氏の時

模合 1口金2円年3回開かる ウサギー1回（外前）皆んな同じく

40人程度（10年—15年）以上も長引く 保証人ワチャメー

ピンマ人 10月で月に2、3回（利子払いの事）元金返済まで何ヶ年も

青年会 15—40才 青年山 村長管理600坪

稲福清幸（清彦氏の父）上原へ通ずる道路を開発しくすの木造林 風紀取締、毛遊び廃止功績を挙げ

大工始 親細工屋大城喜？（ウクラサ）、宮城文良 大宜味校の頭領（※棟梁）した人

土木 宮里安定 台湾よりの土木技術…沖縄土木を初めた 鰹漁業

移民 米国 大城牛太郎／カナダ 宮城創太、明治40年新次郎／マニラベンゲット道路 金城健太郎の父、金城清喜／ペルー 金城清豊

紡績女工 大正11年横浜川崎工場、大分、津、三軒家

歌「いなぐ子なさば 女工になさや 男子なさば 2人が長男」 28円～30円位

パナマ帽 大正2、3年頃より始まる 工賃50銭 下位のもの30銭

男も女も帽子網（※編み）をやった 早いと1日仕上 普通は2日で仕上げる

アダン葉製造 原料を製造して那覇の間屋へ売却

5束～6束 スズ500本～22束で66銭で売る 2.5厘—1束3銭 外口モーキと云ふた

アイ 東リ、新門、タキニー、当

日露戦争 稲福清饒、浜元源吉、普天間直幸、平良源吉（海軍）

字上原 行政区域になった時、塩屋上と安根も共に上原区域になる 昭和7年頃農道政府補助で行う

戦争疎開 戦后収容された人々 東村川田、平良、国頭村安田、佐手、真和志の人



村史編さんだより

第77号 2017年9月1日 大宜味村村史編纂係44-8009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp

大宜味村役場旧庁舎 国の重要文化財指定記念式典・祝賀会



記念式典の様子と来賓（於：改善センター）

文部科学省からの重要文化財（建造物）指定を受けて、旧庁舎記念式典・祝賀会が8月24日（木）に開催され、関係者、村民で喜びを新たに旧庁舎の末永い存続を祈念しました。式典・祝賀会には、設計者清村勉氏と施工した金城組金城平三氏の親族も本土からはるばる駆けつけ、喜びを共にしました。

また、関連事業として旧庁舎内において企画展を行い、建設に携わった人々の写真や大工道具の展示、旧庁舎や日本の古い建築をテーマにした映像や音声の公開も行いました。今後これらは常設展示となりますので、村民の皆さんも我等の誇り旧庁舎にぜひ足をお運びください。

↓展示の様子



～祖父への想いがつまった旧庁舎の模型～

「国の重要文化財指定」の記念にと、清村勉（1894-1985）氏の孫で一級建築士の松本一哉氏より、旧庁舎の模型（縮尺50/1）の寄贈をいただきました。

模型周りには、以前に旧庁舎を訪ねた折に大兼久の海岸で採取した砂を敷きつめ、正面入り口左側の窓からは、「祖父をイメージした」という山高帽の紳士が手を振っています。模型作りの専門ではないとのことですが、外壁の質感や上部のモルタルファンチ（ぶつけ技法）に二段階構造の木の窓枠、内部の柱までとても精巧に作り込まれており、思わず見入ってしまうのは、松本氏の想いが詰まっているからでしょうか。現在、模型は旧庁舎で展示しています。



大宜味村史『移民・出稼ぎ編』販売のお知らせ

2017年3月に発刊された大宜味村史「移民・出稼ぎ編」の販売を開始します！

内容：第1章 大宜味村の海外移民状況 第二章 外地引揚げ 第三章 県内移住 第四章 各字にみる移民・出稼ぎ 第五章 移民・出稼ぎ関係資料 第六章 母村との交流 価格：3,000円（税込）

販売場所：大宜味村教育委員会村史編纂係（旧庁舎）※土日祝祭日、お昼時間除く

購入方法 直接お越しいただくか、郵送希望の方は郵便現金小為替を購入し送付、到着確認後送料着払いで発送いたします。

大宜味村役場ホームページ（http://www.vill.ogimi.okinawa.jp/）にも詳細を掲示しています。





「しまふとうば」ぬくとぅ 20



うみがーみー

今年の旧盆は旧暦5月が2回（グングワチターチャー）あったため9月5日になっている。旧盆行事は普通3日間（ウンケー、ナカビ、ウークイ）行うものだが、村内でおそらく塩屋だけ？は旧暦7月15日の1日で済ませる。そうなった理由ははっきりしないが、次のようなことを聞いたことがある。先の戦争で大宜味村では塩屋だけが殆どの家屋が米軍によって焼かれ、軍事物資の集積場になっていて帰郷が1年程遅れ、帰って見ると何もなく、人々は協力して山へ入り木材を切り出し、家を建て復興を急いだ。そのような状況下では3日間の盆行事をやる余裕はなく1日で済ませたとのことで、それが現在まで続いているとのことである。今ではすっかり根付いてしまっていて、3日間行っている地域からは「塩屋では祖先を1日で帰すのか」とか「朝に迎えて夜に帰す日帰り旅行か」等と揶揄されたりする。

塩屋はまた多くの家庭が共同墓（墓組合がある）を利用しているので墓でのウンケー（迎え）の唱えも違ったりする。共同墓は血縁関係だけでなく実に多くの知らない人々も葬られているので、墓の門番の神様に屋号や具体的な名前などを言わないと迎えを待ちわびている知らない人までが一緒に付いてくるというのである。

ちなみに私の場合は墓入口にある線香立てに三本のうっこう（線香）を立てて、次のようなことを唱（一部省略）えてウヤフーアーフジを迎えて家まで案内している。

「サリウートトウ（3回唱える）、〇〇墓ぬうかみがなしーぬめー、〇〇墓ぬじょうばんぬうかみがなしーぬめー、我や〇〇屋ーぬ〇〇ぬ二男〇〇でい言やびーしが、今日や〇〇年ぬ七月（旧盆）なとぅいびーぐとぅ、〇〇屋ーぬ〇〇とぅ〇〇、〇〇、〇〇、・・・迎えーがちゃーびしが、じょうばんぬうかみがなしーぬめー（門番の神様）どーりん、我ったーうやふあーふじぬめー、ふいっけーしみらち、うたびみそーり うにげーさびら うーとーとぅ」



今月の生きもの



モンシロチョウ：シロチョウ科

蝶々、蝶々、菜の花に止まれ〜♪こんにちは、私はモンシロチョウです。日本全土、世界各地に分布しており、馴染みの深いチョウですが、実は私、外来種なの。沖縄には1960年頃侵入したみたい。私たち昆虫は人が見えない紫外線の領域が見えていると言われており、モンシロチョウのメスの鱗粉は紫外線を反射する構造となっていて、オスは紫外線を吸収してしまう構造なので、オスの方が暗く見えるの。だから私たちはオスとメスがすぐに見比べられるのよ。

🍷 9月の行事予定 🍷

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1日（金）区長会 授業参観（大小）
沖縄県総合防災訓練（リハーサル） | 9日（土）塩屋湾のウングミ（海神祭）～10日 |
| 2日（土）沖縄県総合防災訓練（本番当日） | 16日（土）運動会（塩屋保育所） |
| 3日（日）旧盆（ウンケー） | 17日（日）大宜味小・大宜味中運動会 |
| 4日（月）旧盆（中日） | 18日（月）敬老の日 |
| 5日（火）旧盆（ウークイ） | 19日（火）生涯学習講座 しまふとうば③ 9月29日 |
| 7日（木）村教委学校計画訪問③（幼稚園・給食センター） | 26日（火）交通安全推進村民大会 |
| | 30日（土）ぶながやっ子運動会（喜保） |



招き猫の日